

## 今改めて注目したい水郷の町々 運河の醸し出す独特の風情が旅の魅力に

大運河とともに存在する  
江蘇省

2014年に世界文化遺産  
に登録された京杭大運河は、  
北京市から浙江省の杭州市に  
いたるまで1800キロもの

長さ及びますが、その大運河  
の5分の2が江蘇省を流れて  
います。運河筋には、徐州・淮  
安・揚州・鎮江・無錫・蘇州といっ  
た町々が栄え、江蘇省は大運  
河とともに存在すると言って  
もいいほどです。中でも、太湖  
の畔に開けた蘇州は、運河に

囲まれた市街地に町並みの間  
を縫って水路が縦横に流れ、小  
舟が行き交う光景は「水の都」  
と呼ばれるに相応しい風情を  
醸し出しています。

京杭大運河は、その長い歴  
史と広大な規模によって、これ  
までも中国観光における主要  
な観光資源として捉えられて  
きてはいましたが、どうしても  
突出した観光地としてスポッ  
トライトを浴びるのは蘇州や  
無錫など、江蘇省でも南部のエ  
リアに偏りがちでした。

しかし、京杭大運河  
が世界遺産に登録され  
て、江蘇省だけでなく、  
北京市・天津市・河北省・  
河南省・山東省・安徽  
省・浙江省を加えた大  
運河の通過する2市6

省と、大運河の繋がる  
海河・黄河・淮河揚子江  
(長江)・钱塘江の五大  
水系も含めたエリアで、世界遺  
産としての構成箇所が58カ所  
にも及ぶ形となっています。世  
界遺産登録を機に、これまで

スポットライトの影に隠れがち  
だった都市や町などでも、それ  
ぞれの地域で独自に観光への  
取り組みを強化する動きも始  
まっており、スポットライトを浴



蘇州・寒山寺&無錫・古街

「涙ぐむよな麗の月に鐘が鳴ります寒山寺」(蘇州夜曲)「上海・蘇州と  
汽車に乗り太湖のほとり無錫の街へ」(無錫旅情)と歌われた寒山寺  
[蘇州]の鐘樓(右)と無錫の古街(左)。無錫は街の中を京杭大運河が  
流れており、昔から流通が盛んな場所でした



蘇州・平江路

水路を行き交う小舟は人々の暮らしが運河とともにあることを実感させてくれます。  
運河と古橋が形作る美しい風景が最大の見所となる水路沿いの散策は、蘇州観光で  
は外すことのできない目玉です。



蘇州・夜景

美しくライトアップされた夜景も蘇州観光の魅力の一つ。この山塘街の夜の煌めきを  
求めて多くの旅行者が訪れています



揚州・菜の花水郷

江南エリアの「春爛漫」を象徴するような菜の花畑[揚州]。揚  
州の春の美しさは、唐代の詩人・李白が「煙花三月 揚州にくた  
る」と詠んだほどです



平江路

「花散る春を惜しむか柳がすすり泣く」(蘇州夜曲)といった風  
情も漂う平江路[蘇州]。庶民の暮らしの中に埋もれていた古  
い町並みが、観光客も楽しめるように整備されました



獅子林

太湖石の奇岩群「九獅峰」があることで知られる庭園「獅子  
林」[蘇州]。蘇州には江南式庭園が60カ所以上も残されて  
おり、獅子林をはじめ9カ所が世界遺産に登録されています



# 広告

びるべき場所が増えていくことも期待される状況となってきました。

## 世界遺産登録を機に改めて注目

例えば、京杭大運河のほぼ中央に位置する淮安は、これまで観光地として大きな注目を集めることが少なかった都市です。

中国三大河川の一つである淮河が大運河と交わる淮安は、明代には中国の治水行政や水運行政の中心として大いに栄え、清代の中ごろには人口50万



**用直**  
いくつもの運河に囲まれた面積1平方キロほどの小さな町・用直には、様々な形の橋が40近くも残されています。用直は橋が多い町として知られ、かつては70を超える橋がありました



**河下古鎮**  
淮安の郊外にある河下古鎮と呼ばれるエリアでは、明朝の村を再現する整備が進められ、新しい魅力として注目されています



**南潯**  
江南水郷名鎮として知られる南潯では、絹産業の成長が生み出した富豪たちが、西洋文化の影響を受けた豪邸や庭園を建造。運河沿いに並ぶ建築物は、往時の繁栄を偲ばせてくれます



**天津・西開教堂(フランス租界)**  
北京市から南下する大運河沿いの天津には、かつてのフランス租界にロシア正教の教会を思わせる西開教堂が聳えています



**西塘**  
西塘は、元代以降に町の原型ができたと言われる小さな水郷古鎮です。水路沿いに建ち並んだ家々と石橋が形作る景観は、素朴な雰囲気を醸し出しています

人を数える大都市でした。町の中心部を流れる古い運河の畔には、この地が「南船北馬」の中心地だったことを示す碑が残されています。南から船で来た者が馬に乗り換え、北から馬で来た者が船に乗り込んだ場所であったことを示すのが、この碑です。

その淮安の郊外にある河下古鎮と呼ばれる地区では、明清時代の村の様子を再現する整備が進められ、注目されるエリアになってきました。

京杭大運河の世界遺産登録を機に、淮安が大運河の歴史で果たした役割に改めて注目が集まったり、河下古鎮が大運河沿いで古い村を体験できる場所として脚光を浴びたりする環



**錦溪・古蓮橋**  
錦溪は近年、純朴な雰囲気と美しい景観で人気を集めており、屋根付きの渡り廊下のような美しい橋がかかる古蓮池は、夏には蓮が満開となって優雅な光景が広がります

## 交通改善で新たな人気古鎮も浮上

淮安だけでなく、他の大運河沿いの都市や町も、新しい観光拠点となることが期待されており、江南地域に集中してきた大運河の人気エリアも北

へ広がっていくことになりそうです。

さらに、中国における過去数年の交通インフラの整備は、幹線や高速道路だけでなく、大都市からの二次交通の利便性向上ももたらしています。浙江省や上海周辺でも、従来から人気の高かった烏鎮だけでなく、交通アクセスの改善などを受け地域側でも旅行者誘致に積極的な姿勢に転じており、南潯や西塘といった新しい人気古鎮も浮上してきています。

世界遺産登録で新たな展開が広がっている京杭大運河の江蘇省・浙江省周辺エリアの水郷古鎮は、新しい中国観光の可能性を開く観光資源として大いに期待されることです。



**烏鎮**  
「江南6大水郷」の一つに数えられる烏鎮は、浙江省の省都・杭州と上海の中間にあり、水路沿いに浮かぶ水上楼閣や古い建物が並ぶ小路に往時の風情が色濃く漂う古鎮です



**印象西湖**  
杭州の西湖岳湖区を舞台に美しい山水を融合させた一大スペクタクル「印象西湖」。中国の国民的映画監督・張芸謀(ジャンイーモー)の演出に、中国江南地方の四季折々の自然風景が彩を添えます